

《研究課題名》

トラベクトミーの眼外法と眼内法の比較

《研究対象者》

2014年1月1日から2020年12月31日までに滋賀医科大学医学部附属病院眼科において緑内障と診断され手術を受けられた方

研究協力をお願い

滋賀医科大学において上記研究課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方の滋賀医科大学で既に保有している情報を用いて行う研究であり、研究目的や研究方法是以下の通りです。情報の使用について、直接ご説明して同意はいただきず、このお知らせをもって説明に代えさせていただきます。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。

なお、本研究への情報の提供を希望されない場合、あるいは、本研究に関するご質問は下記（８）の問い合わせ先へご連絡ください。

（１）研究の概要について

《研究課題名》トラベクトミーの眼外法と眼内法の比較

《研究期間》 滋賀医科大学学長許可日～2024年3月31日

《研究責任者》 滋賀医科大学 眼科 南川貴之

（２）研究の意義、目的について

《意義》

緑内障とは慢性進行性の疾患であり、進行すると視野障害が進み放置した場合は失明に至る疾患です。治療として眼圧を下げることで進行を遅らせることが可能となります。治療法には、薬物治療と手術治療があります。手術治療のひとつとして、トラベクトミーは古くから行われている手術方法で、眼外法が主流でした。しかし、近年手術器具の開発により、より侵襲の少なくかつ手術手技が容易な眼内法が行われるようになってきました。

今回は、当院で行われた過去のトラベクトミーの眼外法と眼外法を比較し、実際の臨床成績を検討することを計画しました。

《目的》

視力、眼圧、視野、手術時間、合併症、術前術後の薬物療法の内容の変化を評価することです。

（３）研究の方法について

《研究の内容》

本研究は患者さんの診療録から情報を利用させていただき、後ろ向きに解析を行う研究で

す。

《利用する情報の項目》

下記の項目を診療録から収集し利用させていただきます。

背景情報：年齢、性別

視機能検査：視力、眼圧、視野、手術時間、合併症、術前術後の薬物療法の内容の変化

《情報の管理について責任を有する者》

滋賀医科大学医学部付属病院眼科 南川貴之、三ツ石智、森崇正

（４）個人情報の取扱いについて

本研究を実施する際には、あなたの試料・情報から、あなたを特定できる情報（氏名、生年月日、住所等）を除き、代わりに本研究用の ID を付けることで、その試料・情報が誰のものであるか分からない状態にします。ただし、必要な場合に特定の個人を識別できるように、あなたと ID を結び付けることができるような加工をした情報を残します。尚、加工された情報は、施錠できる場所で担当者によって厳重に管理されます。

（５）研究成果の公表について

本研究の成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。公表の際には個人が特定されることがないように、十分配慮いたします。

（６）研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象となる方又はその代理人の方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。ご希望の場合には、下記（８）の問い合わせ先へご連絡ください。

（７）利用又は提供の停止

本研究の対象となる方又はその代理人の求めに応じて、対象者の方の試料・情報を本研究に利用（又は他の研究に提供）することについて停止することができます。停止を求められる場合には、下記（８）にご連絡ください。

（８）本研究に関する問い合わせ先

担 当 者： 滋賀医科大学 眼科 三ツ石智、森崇正

住 所： 520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

電 話 番 号： 077-548-2276

メールアドレス： hqophth@belle.shiga-med.ac.jp